

## 令和6年度第1回全国健康保険協会東京支部評議会 議事概要報告

開 催 日	令和6年7月12日 金曜日 14:00 ~ 16:00
開 催 場 所	全国健康保険協会東京支部内 会議室
出 席 評 議 員	伊東評議員、恩藏評議員、加藤評議員、嶋村評議員、白田評議員、杉村評議員、関口評議員、傳田評議員、藤田評議員（五十音順）
議 題	<p><b>【報告事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和5年度 決算（見込み）について</li> <li>2. 令和5年度 東京支部事業報告について</li> <li>3. 令和5年度 東京支部保険者機能強化予算の執行実績について</li> <li>4. 令和6年度 第1四半期事業進捗状況について</li> <li>5. 首都圏支部会議（仮称）について</li> <li>6. マイナ保険証に係る協会けんぽの動向について</li> <li>7. 令和6年度 東京支部評議会開催日程（案）について</li> </ol>
議 事 概 要 (主な意見等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>令和5年度 決算（見込み）について</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>学識経験者</u> 新聞記事を読むと「加入者の賃金も協会の収入も増え、その結果、収支差が増えている」という結論だけが掲載されており、保険料率が減らせるのではないかと読めてしまう。今後、保険給付費が伸びていくことや高齢者の拠出金が増加していくという見通しの部分がかかれていないため、ホームページ等で広報を行う際には、その点を配慮して広報を行った方がいいのではないか。</li> <li>→● <u>事務局</u> 協会では記者会見を行う際には、必ず今後の見通し等も説明は行っているが、お話いただいた新聞記事には、詳細までは掲載されていない状況であった。協会からの広報については、今後の見通し等も含めて誤解を招かないように周知していきたい。</li> <li>→● <u>事務局</u> 協会の財政傾向を示す医療費と賃金のグラフについては、かねてより「ワニの口」と呼ばれており、賃金の伸びより医療費の伸びがはるかに高い結果であり、医療費の伸び方は年々大きくなっていることが鮮明にわかるので、視覚的に表現することを検討していきたい。</li> </ul> </li> </ol>

2. 令和5年度 東京支部事業報告について

3. 令和5年度 東京支部保険者機能強化予算の執行実績について

● 学識経験者

生活習慣病予防健診について、自己負担額の軽減を前面に押し出した勧奨を実施したということで、実施状況の評価が○印（できた）がついている。しかしながら、KPIを見ると目標値に対する実績値が大きく乖離している。これだけ実績とKPIに開きがあるということはKPIが高すぎると考えるが、KPIの見直しがあるのか教えていただきたい。

→● 事務局

評価については、事業を予定通り実施できたかを評価している。そのため、最終的にKPIが達成できなかったものについても、事業計画で予定していたとおりに実施したものは○印をつけている。一方、KPIについては、健診実施率では、分母となる受診対象者と分子となる健診受診者の算出方法が異なるため、全国に被保険者がいる東京支部は健診実施率が低い結果となってしまう。また、特定保健指導の実施率は、各都道府県支部の実態によらず、協会全体の目標を達成するためのKPIが設定されており、実績値と目標値に乖離がある。令和6年度からは、生活習慣病予防健診、特定保健指導ともKPIの数値は現実的な数値に見直しされている。

→● 事務局

事業報告については、時間の都合上、KPIを中心に説明させていただいたため、実施状況と評価に多少乖離が発生してしまったが、実質的にやってきたことを評価していきたいと考えている。KPIについては、適正なものとはそうでないものが混在している状況であるため、今後は本来やるべきことを中心に説明させていただくこととする。

● 被保険者代表

医療費分析について、支部における分析ツールの活用により、外部委託をする必要がなくなったということは、協会全体でDXを進めていく中で内製するノウハウが積みあがっていると考えてよろしいのか。

→● 事務局

システムの刷新に伴う分析ツールの導入により、これまでは、データの抽出を本部に依頼をするため、抽出に時間がかかっていたが、支部で必要な時に職員が抽出できるようになった。しかしながら、すべての職員が分析ツールを使用できるところまでは至らないため、分析作業に長けた職員を中心に行っているのが現状である。そのため、多くの職員が分析ツールを活用できるようにするため、職員の階層別研修においては、統計分析研修を実施している。

→● 事務局

支部において、統計分析の表面的な数字を提示することはできるが、分析が内製化したことによりすべての外部委託が必要ないかということそこは難しく、将来の事業に役立てていくかの分析は

内製化ができていない。職員ができる範囲の分析について内製化できているというレベル感でご理解いただきたい。

● 被保険者代表

ジェネリック医薬品の使用促進について、ジェネリック医薬品の供給不足にかかるところは評価が下がっているが、それ以外は事業が実施できたとなっており、努力されているとうかがえるが、ジェネリック医薬品の供給不足に関しては、協会として対策を行っているのか。

→● 事務局

ジェネリック医薬品の供給不足については、国として様々な施策を行っていたり、製薬会社や薬剤師会で供給網をまとめているという事例はあるが、協会単独でジェネリック医薬品の供給不足に関する対策を行うことは難しい。

4. 令和6年度 第1四半期事業進捗状況について

● 事業主代表

重症化予防に対する KPI について、データの業種・業態別というものは出ているのか。業種・業態の関係団体にアプローチし、医療機関の受診を推進できるとよいのではないか。

→● 事務局

分析ツールの活用による業種・業態別のデータを抽出することは可能である。また、6月末に東京労働局と協定締結をしたことにより、今後は東京労働局と連携し様々な業界に受診勧奨事業を推進していきたい。業態ごとに受診率に大きく差があることは明確なため、強弱をつけながら実施していきたい。

● 被保険者代表

LINE を用いた広報について、進捗状況を教えていただきたい。

→● 事務局

LINE については、協会全体で行っていく事業となっており、10月を目途にリリース予定となっている。

● 被保険者代表

LINE による健康情報を発信について、令和5年度の上期までは東京支部で実施しており、非常に有意義な情報だったと感じている。この事業は進めていただきたい。

→● 事務局

本年度から本部に広報企画室というものが設置された。これまで、支部独自に広報を行っていたところを本部で一体管理しながら広報を行っていく方針となった。LINE については、まさに本部

が中心となり情報発信をしていく事業と考えている。

● 事業主代表

ラジオ番組について、放送内容の事前告知などは行っているのか。事前告知を行うことで多くの加入者の方に伝わるのではないか。私自身も車でラジオを聴きながら移動することが多いため、今後は事前に情報を教えていただけるとありがたい。

→● 事務局

情報提供の不足があり大変申し訳ない。メールマガジンでは、ラジオ放送について発信しているが、評議員の皆様へリアルタイムでお知らせすべきであった。今後、テーマや出演者を事前にご案内させていただく。また、皆様の周りの方へもお知らせいただきたい。

● 学識経験者

ラジオ放送はいつまで実施するのか。

→● 事務局

契約は9月末までとなっている。10月以降の下期については、現在検討中である。

5. 首都圏支部会議（仮称）について

● 事業主代表

東京に勤めていて、自宅が千葉、神奈川、埼玉、群馬、遠い例では長野や新潟から通勤している人もいる。ご家族は東京都以外にいますので、被扶養者の健診はお住いの地域で受けていただくこととなる。今回このような支部間での積極的な会議を進めていただき、支部間で共通の認識を持っていくべきと考える。

また、東京支部は規模が大きくなっていく一方なので、こういう会議を行いながら、ほかの支部に現状を理解してもらうことも大切ではないか。

→● 事務局

本年度から、東京支部の被扶養者の集団健診について他の都道府県在住の被扶養者も利用できることとなった。特に被扶養者の健診は1都3県がまとまるのが重要と考えている。健診以外のことも1都3県でできることがないか検討していきたい。

6. マイナ保険証に係る協会けんぽの動向について

● 被保険者代表

マイナ保険証への移行期間中であっても、協会はマイナ保険証を医療機関に提示してもらったほうがメリットは高いと思うが、マイナ保険証の利用を促進する事業の予定はあるのか。

→● 事務局

協会からの郵送物やホームページにおいて広報を行っている。なお、マイナンバーカードを持ち歩くところが心理的に大きなハードルと考えているため、保険証と同様に持ち歩いていただくことを伝えていけるよう広報を進めてまいりたい。

● 被保険者代表

移行期間後について、保険証は個人で廃棄処分するということだが、別途案内が来るのか。

→● 事務局

まだはっきり決まっていないため、決定した際にご案内させていただく。

● 被保険者代表

マイナ保険証に紐づいているお薬情報については、現在はお薬手帳を使用しているかと思うが、今後は、お薬手帳も廃止となりマイナポータルから情報を確認することになるのか。

→● 事務局

薬剤情報については、本人の同意・不同意が必要となる。同意することにより医療機関側で薬剤情報を参照できるが、現時点で、お薬手帳が廃止されるか否かの情報については、持ち合わせていない。

7. 令和6年度 東京支部評議会開催日程（案）について

（特に意見等なし）

以上

特記事項
------

- |                             |
|-----------------------------|
| ・傍聴者：なし<br>・次回の開催予定：令和6年10月 |
|-----------------------------|